

くるほねっ子

平成30年度
黒保根小学校 学校だより
第14号
平成30年7月13日(金)
〈文責〉校長

願い事、叶えるには・・・ ～七夕集会から～



6日(金)の朝行事は七夕集会でした。体育館に飾りを満載した2本の竹をしつらえ、子どもたちが「テストで百点がとれますように」「水泳が上手になりますように」「保育士になれますように」など、思い思いの願い事を結びました。みんなで「たなばたさま」を歌ったあと、各クラスの願い事を発表しました。その後はクイズもあり、楽しいひとときを過ごすことができました。企画委員の人たちは、竹を準備するところから当日の運営まで、一生懸命にやってくれました。ありがとう。



【七夕集会の様子から】

今日(13日)、1学期最後の全校集会を行いました。そこで、子どもたちにこんな話をしました。

1週間前の金曜日は七夕集会でしたね。企画委員の人たちが頑張ってくれて、それぞれのクラスの願い事を発表しました。ところで、みんな、自分のクラスの願い事、覚えていますね？願い事って、願い事をするだけかなうものかな？どうすればいい？

そう、かなうように、みんなが努力することが必要だよ。先週発表した願い事がかなうように頑張っているかな。

みんなの生活を見ていて、願い事がかなうよう、一生懸命に頑張っている姿を見ることができます。例えば、「下級生をリードできるクラスになれますように」という願い事を発表してくれた学年がありますが、縦割り清掃を見ていると、下級生の面倒を見ながら一生懸命に掃除をしてくれている、休み時間に下級生と一緒に、面倒を見ながら遊んでいる、そういう姿を見ることができます。願い事がかなうように努力してくれているんだと思います。

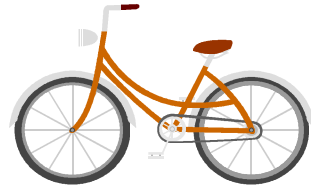
願い事って、「こんなクラスになりたい」という、目標みたいなものだね。目標を立てたら、それに向かってみんなで努力していきましょう。47人全員がそうなってくれると嬉しいです。

目標をもって、それに向かって努力すること大切さについては、折に触れ子どもたちに伝えています。これからも一人一人がしっかりと頑張っていけるよう支援していきたいと思っています。各クラスの願い事を紹介します。

- 1年生『なんでもいえるなかよしのクラスになれますように』
- 2年生『コツコツでパーフェクトがとれますように』
- 3年生『いじめのない楽しいクラス』
- 4年生『みんなが給食を残さず食べ、
お休みがないクラスになりますように』
- 5年生『下級生をリードできるクラスになれますように』
- 6年生『積極的に手をあげ、発言できる6年生になれますように』



交通安全教室



5日（木）に夏休み前の交通安全教室を実施しました。今回のテーマは、自転車の安全な乗り方でした。天候の関係で、実際に自転車に乗ることはできませんでしたが、駐在所の石関巡査部長さんにおいでいただき、自転車の安全な乗り方や交差点の歩行について御指導いただきました。石関さんからは、「自転車は車両なので、車と同じように交通ルールをしっかりと守ること」「安全のためヘルメットを必ず着用すること」「自転車も加害者になるケースがあるので気をつけること」など、大切なお話をいただきました。



報告によると、今年度4月から現在までの桐生市内の自転車の事故の件数は前年に比べ増えてしまっているということです。自転車に乗る際は、ルールをきちんと守って乗れるよう、御家庭でも御指導ください。よろしくお願ひいたします。



第2位おめでとう！

桐生市みどり市よい歯の子コンクール



5日（木）に、桐生市歯科医師会館で「桐生市みどり市よい歯の子コンクール」審査会が行われ、黒保根小学校からは6年生の相川陽向さんが参加しました。

審査の結果、桐生市・みどり市の各小学校からの代表児童35名の中で、第2位に入賞しました。おめでとうございます。毎日の歯磨きなど、日頃の努力の成果だと思います。

歯は健康の源、これからも大切にしていけるといいですね。

今後、桐生市では「よい歯の学級表彰」等も予定されています。歯科治療については何度も学校だよりで書かせていただいておりますが、夏休みを利用して全員が治療を終えることができるよう、保護者の皆様の御協力を重ねてお願ひいたします。

校長室から⑥ ～ 目標と努力 ～

今日、ある6年生が着ていたTシャツの背中に『目標があるから輝ける 頑張れる。目標があるなら実現できる』と大きく書かれていた。全校集会で「願い事は目標みたいなもの」という話をしたばかりだったので、余計に目についたのかもしれない。

目標に向かって努力し、結果が出ると自信になる。自信は次への意欲につながる。また、たとえすぐに結果が出なかったとしても、努力したという経験が残り、その経験は次のステージで生かすことができる。いずれにしても、大切なのは努力する過程にある、ということのをこれからも伝えていきたい。（柴塚）